

お世話になります

今年度、進路指導を担当しています「五十嵐仁」と申します。所属は3学年部です。

3年生の進路選択はもとより、全校生徒の進路学習やキャリア教育について担当いたします。よろしくお願いいたします。進路やその他関連することで、不明な点は何なりとお尋ねいただければと思います。

「進路だより」の発行について

中学校の卒業生の多くが高校に進学する時代となりました。一方で自分の適性や将来の展望がないまま高校に進学したために、残念ながら中退するケースもあるようです。そうならないための進路に対する考え方のポイントや時期に応じた情報提供に努めてまいります。

3年生にとって、これからの学校生活や学習によって将来の進路選択の幅が大きく違ってきます。今年の3年生は「公立高校の入学者選抜」＝「公立高校の入試」の方法が大きく変わってから4回目の入試となります。まずは、しっかりと入試の理解をお願いしたいと思います。1・2年生にとっては、進路について学び、自分の将来をじっくり考えることで、計画的な学習や生活の改善につながります。お子様にはその都度、情報提供いたします。保護者の皆様も進路だよりをもとに、ご家庭で話題にいただければと思います。

中学校卒業後の進路は、単なる高等学校選びになることなく、各自の適性を考え、将来就きたい職業をはっきりと見据えて決めていくことが必要になってきます。そして、行きたい学校をできるだけ早く決め、目標に向かって計画的に学習を進めていくことが大切です。目標が明確でないと、学習にも身が入らない原因にもなります。

なお今後、特に3年生は「高校が主催する体験入学」や「進路事務関係」等で書類を提出していただくことがあります。その時は、くれぐれも期限遵守をお願いいたします。遅れると、手続きができなくなることがありますのでご注意ください。



平成28年度末29年度初めの進路状況について

この3月の卒業生の4月の大まかな進路状況については以下のとおりです。

種別	人数
県内公立高校	74
県内私立高校	14
その他	3

傾向としては、公立高校への進学者が78%でした。その中には、普通科以外の9つの学科を選び進学をしています。学びたい学校・学科を選んだ生徒が多く見られました。

その要因としては高校卒業後の進路選択を見すえた高校選択が考えられます。

公立高校入試の方法が大きく変わり4回目を迎えます。入試の方法に一喜一憂すること無く、高校卒業後の進路を見すえた、納得の行く進路選択をしてもらいたいと思っています。